

入札公告

条件付一般競争入札を執行するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定により、次のとおり公告する。

令和2年12月14日

宮城県知事 村井嘉浩

1 入札に付する事項

- (1) 業務番号 令和2年度教40-231号
業務名 佐沼高校舎等改築地質調査業務委託
- (2) 業務場所 登米市迫町佐沼字末広1
- (3) 履行期間 契約締結日の翌日から令和3年3月26日まで
- (4) 業務概要 機械式ボーリング
孔径 66mm×6箇所, 86mm×1箇所
掘削長 234m(径66mm) 4m(径86mm) 計238m
想定土質 シルト, 粘性土2m 砂, 砂質土2.9m 礫, 礫質土4m
軟岩4m
標準貫入試験
試験回数234回(1m毎に行う。)
土質試験
土粒子の密度試験 土の含水比試験 各1試料(1試料3個)
土の粒度試験 沈降分析(ふるい分析含) 1試料
土の粒度試験 ふるい分析 16試料(試料0.5kg以下)
孔内水平載荷試験 普通載荷 1回
- (5) 支払条件 前払 有
- (6) 予定価格 10,586,000円(消費税及び地方消費税を除く。)
- (7) 契約保証金 契約金額の10分の1以上の額
- (8) 入札方式 条件付一般競争入札(電子入札・調査基準価格及び数値的判断基準を適用)
- (9) 落札方式 最低価格落札方式

2 入札に参加できる者に必要な資格に関する事項

宮城県から建設関連業務に係る競争入札の参加資格等に関する規程(昭和61年宮城県告示第1243号。以下「参加資格規程」という。)に基づく令和2・3年度の参加資格の承認を受けている者で、開札日当日において次の要件を満たしていること。

参加資格の承認を受けている業種(部門)及び等級
地質調査(土質調査)A等級であること。
年間平均営業実績額に関する条件
参加資格の承認を受けている業種が「地質調査」の、直前2営業年における年間平均営業実績額が、1第6号に示す予定価格に消費税及び地方消費税を加えた額を上回っていること。 なお、「直前2営業年における年間平均営業実績額」は、参加資格規程に基づく令和2・3年度の参加資格の承認者名簿に記載されている、入札参加希望者の承認業種に対応する「年間平均営業実績高(直前2営業年)」欄の額とする。
事業所の所在地に関する条件
宮城県内に本社(本店)を有していること。
入札参加者の業務実績に関する条件
なし

配置管理技術者の資格及び担当業務数に関する条件	
	<p>配置管理技術者の資格について 以下のいずれかの資格を有していること。</p> <p>イ 技術士（総合技術監理部門（選択科目を建設一般並びに土質及び基礎，応用理学一般並びに地質とするものに限る。））</p> <p>ロ 技術士（建設部門（選択科目を土質及び基礎とするものに限る。））</p> <p>ハ 技術士（応用理学部門（選択科目を地質とするものに限る。））</p> <p>ニ 地質調査技士（部門は問わない。）</p> <p>ホ 上記技術士，地質調査技士と同等の能力と経験を有する技術者</p> <p>ヘ シビルコンサルティングマネージャ（（RCCM（専門とする技術部門を「地質」及び「土質及び基礎」とするものに限る。））の資格保有者</p> <p>担当業務数について この業務の契約締結から業務の履行が完了し，発注者が完了届を受理するまでの間，管理技術者としての担当業務数（管理補助技術者としての担当業務を含む。）がこの業務を含めて5件以下の管理技術者を配置できること。ただし，契約額が100万円以下又は随意契約により契約した業務は，担当業務数から除く。</p> <p>落札候補者になった場合において，他の業務を受注して担当業務数が5件になったときは，この業務を受注することができなくなるので，速やかに書面で申し出ること。</p>
配置管理技術者の業務実績に関する条件	なし
配置照査技術者に関する条件	<p>以下のいずれかの資格を有している照査技術者を配置できること。</p> <p>技術士（総合技術監理部門（選択科目を建設一般並びに土質及び基礎，応用理学一般並びに地質とするものに限る。））</p> <p>技術士（建設部門（選択科目を土質及び基礎とするものに限る。））</p> <p>技術士（応用理学部門（選択科目を地質とするものに限る。））</p> <p>地質調査技士（部門は問わない。）</p> <p>上記技術士，地質調査技士と同等の能力と経験を有する技術者</p> <p>シビルコンサルティングマネージャ（RCCM（専門とする技術部門を「地質」及び「土質及び基礎」とするものに限る。））の資格保有者</p>
業務に対応できる資格を有する技術者の数に関する条件	<p>以下のいずれかの資格を有する技術者を2名以上雇用していること。</p> <p>技術士（総合技術監理部門（選択科目を建設一般並びに土質及び基礎，応用理学一般並びに地質とするものに限る。））</p> <p>技術士（建設部門（選択科目を土質及び基礎とするものに限る。））</p> <p>技術士（応用理学部門（選択科目を地質とするものに限る。））</p> <p>地質調査技士（部門は問わない。）</p> <p>上記技術士，地質調査技士と同等の能力と経験を有する技術者</p> <p>シビルコンサルティングマネージャ（（RCCM（専門とする技術部門を「地質」及び「土質及び基礎」とするものに限る。））の資格保有者</p>
その他	<p>宮城県建設工事入札参加登録業者等指名停止要領（令和2年4月1日施行）に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。</p> <p>宮城県入札契約暴力団等排除要綱（平成20年11月1日施行）別表各号に規定する措置要件に該当しないこと。</p> <p>会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てをしている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てをしている者でないこと。（更生又は再生手続開始決定がなされた場合を除く。）</p> <p>銀行取引停止となっている者でないこと。</p> <p>地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。</p>

3 入札担当班及び業務担当班

区分	担当班	電話番号	住所
入札担当班	宮城県出納局契約課 工事契約班	022-211-3336	〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
業務担当班	宮城県土木部営繕課 営繕第二班	022-211-3266	

4 入札手続等

(1) 入札参加申請

電子入札システムにより、事前に入札公告の5に示す入札参加受付期間内に入札参加申請を行わなければならない。

(2) 設計図書等の閲覧及び貸出

当該業務に係る仕様書、図面及び契約条項（以下「設計図書等」という。）を閲覧に供するほか、希望者に貸し出しする。

イ 閲覧及び貸出の期間及び場所は、入札公告の5に示すとおりとする。

ロ 設計図書等に対する質問について

（イ）設計図書等について質問がある場合は、電子入札システムにより所定の質問書に入力の上、提出するものとする。

（ロ）質問書に対する回答書は、入札公告の5に示す期間及び場所で閲覧に供する。また、電子入札システムにおいても閲覧に供する。

(3) 入札方式並びに開札の日時及び場所等

電子入札システムによる入札とし、開札の日時及び場所は、入札公告の5に示すとおりとする。

(4) 入札参加資格の確認

入札参加資格の確認は、開札後に、落札者とするため必要がある者について行う。

5 入札日程

手続等	期間・期日	場所・方法
設計図書等の閲覧及び貸出	令和2年12月14日（月）から 令和3年1月5日（火）まで	入札情報サービスシステム
質問の受付	令和2年12月14日（月）から 令和2年12月21日（月）まで	電子入札システムへの入力による。
回答書の閲覧	令和2年12月24日（木）から 令和3年1月5日（火）まで	仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県行政庁舎地下1階 県政情報センター及び電子入札システム
入札参加受付	令和2年12月14日（月）から 令和3年1月4日（月）まで	電子入札システムへの入力による。
入札書提出受付	令和3年1月5日（火）から 令和3年1月6日（水）まで	電子入札システムへの入力による。 （入札参加資格確認票、業務委託費内訳書を添付）
開札	令和3年1月7日（木） 午前10時50分から	仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県行政庁舎2階 第一入札室
入札結果の公表	落札決定した日の翌日	仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県行政庁舎地下1階 県政情報センター及び入札情報サービスシステム
<p>（注1） 上記の期間は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び令和2年12月29日から令和2年12月31日までを除く午前9時から午後5時まで（県政情報センター又は県政情報コーナーで行う手続等にあつては、正午から午後1時までを除く。）とする。</p> <p>（注2） 設計図書等とは、当該工事に係る仕様書、図面及び契約条項をいう。</p>		

6 業務委託費内訳書提出

- (1) すべての入札者から、入札書の提出に際し、入札書に記載されている入札金額に対応した業務

委託費内訳書の提出を求める。

- (2) 業務委託費内訳書の積算価格と入札書の入札金額は一致しなければならない。
- (3) 業務委託費内訳書については、この入札公告が掲載された入札情報サービスシステムのこの業務の欄に添付されている業務委託費内訳書様式をダウンロードし、必要事項を入力し、電子入札システムにより入札書提出時に電子ファイルとして添付して提出すること。ダウンロードしたファイルの形式は変更しないこと。
- (4) 提出される電子ファイルのデータは宮城県のデータベースに登録され、標準積算基準に対する宮城県の地域特性等を把握するために、統計処理する場合がある。

7 入札参加資格確認票の提出等

- (1) すべての入札者から、入札書の提出に際し、入札参加資格確認票（建設関連業務における条件付一般競争入札試行要領別記様式1から3まで）の提出を求める。
- (2) 入札参加資格確認票については、必要事項を入力し、電子入札システムにより入札書提出時に電子ファイルとして添付して提出すること。
- (3) 入札参加資格確認票の記載要領は次のとおりとする。
 - イ 本業務の該当部門の技術職員数について、別記様式1に記載する。
 - ロ 配置技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務について別記様式2及び3に記載する。
- (4) 本業務の管理技術者は、病休、死亡、退職等の真にやむを得ない場合を除き、入札参加資格確認票に記載した管理技術者でなければならない。

また、管理技術者を業務実施中に変更できるのは、業務の主体部分がほぼ完了したと総括調査員が認めた場合、もしくはその他やむを得ない事情（病休、死亡、退職等の真にやむを得ない場合に限る。）があると総括調査員が判断した場合とする。

なお、変更する管理技術者は、原則として、本入札公告に示された管理技術者に係る全ての条件を満足する者を配置し、総括調査員の承諾を得るものとする。

8 資格審査時の提出書類等

入札執行者から開札後、入札参加資格確認票の記載内容に対応した書類の提出を求められた場合は、次の書類を電子入札システムにより電子ファイルとして添付して提出すること。

- (1) 配置管理技術者の資格を証明する書類（資格者証等）の写し及び雇用関係を確認できる書類
- (2) 配置管理技術者の役割等を記載した「業務実施体制図」
- (3) その他入札執行者が入札参加資格確認のため必要と認めた書類

9 入札方法等

- (1) 入札書の提出
 - イ 入札書の提出期限及び提出先は、入札公告の5に示すとおりとする。
 - ロ 入札書は、電子入札システムにより提出期限までに到達しなければならない。
 - ハ 持参、電報、ファクシミリ及びその他の電気通信（電子入札システムを除く。）による入札書の提出は認めない。
 - ニ 提出期限を過ぎて到達した入札書は、いかなる事由があっても受理しない。
 - ホ 既に提出した入札書の訂正及び差し替え並びに再提出は認めない。
- (2) 入札者又はその代理人は開札に立ち会うことができる。ただし、電子入札を適用しない場合において、入札者又はその代理人が開札に立ち会わない場合は、入札事務に関係のない宮城県職員を立ち合わせて開札を行う。
- (3) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の消費税及び地方消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の消費税及び地方消費税に相当する金額を控除した金額を入札書に記載すること。
- (4) 入札執行回数は、1回とする。

10 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲で最低の価格をもって有効な入札をした者を落札者とする。

また、総合評価落札方式を適用した場合は、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札をした者のうち、総合評価点の最も高いものを落札者とする。
- (2) 落札となるべき同価格の入札をした者が、2人以上あるときは、直ちに、電子入札システム上の電子くじにより、落札者を決めるものとする。

また、総合評価落札方式を適用した場合は、総合評価点の最も高いものが2人以上あるときは、

- 入札価格が低いものを落札候補者とし、入札価格が同じ場合はくじ引きにより落札者を決定する。
- (3) 調査基準価格を下回る入札である場合において、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容及び履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札したものを落札者とするところがある。また、総合評価落札方式を適用した場合は、総合評価点の最も高い者を落札者とするところがある。
 - (4) 調査基準価格を下回る入札である落札候補者においては、履行能力確認調査を行い不適格と判断した場合は、落札者とししない。

11 調査基準価格を下回る価格で落札されたときの調査協力について

この業務が調査基準価格を下回る価格で落札されたときは、業務の適正な履行を確保するため、履行期間中に必要な調査を行うことがある。この場合において、業務の受注者は、次のとおり調査に協力しなければならない。

- (1) 受注者は、その業務体制について記載した書類を作成し、宮城県からその提出を求められたときは、これに応じなければならない。
- (2) 受注者は、業務を行うに当たり仕様書に基づき計画した内容について記載した書類を作成し、宮城県からその提出を求められたときは、これに応じなければならない。
- (3) (1)及び(2)に規定する書類について宮城県から事情聴取を求められたときは、これに応じなければならない。

12 契約保証金

- (1) 契約金額の10分の1以上の金額とする。
- (2) (1)以外の、契約保証金の取り扱いは、工事請負契約における契約保証に関する取扱要領（令和2年4月1日施行）を準用する。

13 契約書作成の要否 要

14 入札保証金 免除する。

15 その他

- (1) この入札の取り扱いは、財務規則のほか、建設工事執行規則（昭和39年宮城県規則第9号）及び宮城県建設工事競争入札参加心得（平成15年4月1日施行）を準用する。
- (2) 入札公告の開始日から質問書に対する回答閲覧開始日までの期間内に、設計図書等の訂正及び追加を行う場合がある。入札参加者は入札情報サービス及び閲覧図書等で設計図書等の訂正及び追加内容を確認するとともに、質問への回答を確認のうえ、入札書を提出しなければならない。
- (3) 入札参加資格確認票様式等については、宮城県出納局契約課のホームページ又は入札情報サービスシステムからダウンロードできる。
- (4) 宮城県出納局契約課ホームページ(アドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/>)
- (5) 落札者は、この業務に係る契約を締結した後において、入札が財務規則第101条の4第1項第9号に該当する行為によるものであったことが明らかになったときは、当該契約金額の100分の20に相当する額の公正入札違約金を支払わなければならない。
- (6) 建設工事執行規則、宮城県建設工事競争入札参加心得及び工事請負契約における契約保証に関する取扱要領については、宮城県出納局契約課のホームページ(アドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/>)、入札情報サービスシステム(アドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/ksn.html>)及び県政情報センター（宮城県行政庁舎地下1階）において閲覧することができる。
- (7) 電子入札システム(アドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/ksn.html>)
- (8) 履行期間の令和3年3月26日は、業務委託契約を締結した後において、令和2年度宮城県一般会計補正予算が議決等されたとき、令和3年5月14日に変更する。